



晴天に恵まれた大運動会。リレーや筑高体操などが披露され、グラウンドに歓声が響いた。  
撮影 増田俊次(高21)



第72号  
発行 筑紫丘高校同窓会  
福岡市南区野間2-13-1 〒815-0041  
電話092(561)0662  
FAX092(561)0663  
ホームページ <http://www.chikushigaoka-dousokai.com/>  
印刷 西日本新聞プロダクツ

# 伝統を創る

## 大運動会、翔丘祭 コロナ禍に負けず開催

筑高三大行事のうち、翔丘祭と大運動会が令和4年5月と9月に開催された。コロナ感染症の影響で、翔丘祭は3年ぶりの開催、大運動会は2年ぶりに例年に近い形となった。いずれの行事も生徒たちは手探りの準備を余儀なくされたが「伝統を引き継ぎ、創ろう」と力を合わせた。

### 「想造」の二文字に結集 第75回翔丘祭 (5月13、14日開催)

テーマは「想造」。「想像」と「創造」という意味を含めた言葉です。私たちが在校生は従来の翔丘祭を知りません。「これまで」を想像しながら、新たな翔丘祭を創造していくこう、という思いを込めました。

いつ変更、中止になってもおかしくない状況で、どこまでコロナ禍前以上のものにするか。私たち運営委員は議論を重ね、出来る限りの準備を進めました。昨年の代替行事

「謳架」を経験した者にしか創り上げることのできない翔丘祭を目指しました。

そして、3年ぶりの来場者を迎え、2日間を無事終えた閉会式の時涙が出るほど嬉しく、今まで準備してきたよかったです。心から思いました。来年はより多くの方に来場していただき、より活気のある翔丘祭になることを願っています。

(運営委員長・友清千波)



第75回翔丘祭ポスター

### アイデアと協力で乗り切る 第75回大運動会 (9月10日開催)

大運動会の準備は、まさに手探りでスタートでした。2年ぶりに例年に近い形での開催となったのですが、昨年から、コロナのために例年とは違った形で行われたため、運営委員は通常の大運動会を経験しておらず、引き継ぎも十分できていなかったのです。

当日は、競技種目の変更や観客の制限が一部行われるなど、コロナによる制限もいくらかあり、これまでと違った形での運営を余儀なくされました。従来の大運動会の伝統

を引き継ぎつつ、新しい伝統を創造することは簡単なことではありませんでした。

しかし、先生方のご指導のもと、運営委員の仲間とアイデアを出し合い、協力することによって乗り切り、大運動会を無事に成功させることができました。当日は天候にも恵まれ、筑紫丘高校が大運動会を通してさらに活気づいたと思います。大変な状況下でも実施できたことに感謝したいと思います。

(運営委員長・山口凌平)

### 同窓会専用 GAOカード誕生

「同窓会を、同窓生の会費で運営しよう」と、昨年(2022)3月の常任幹事会で、卒業生の皆さまから同窓会年会費2,000円を集める手法の1つとして「GAO(ガオ)カード」の採用が決議されました。GAOカードとは、(株)クレディセゾンの新決済サービスを用いた筑紫丘高校同窓会専用のカードです。数社との協議・交渉を含めて検討を行い、最終的に(株)クレディセゾンのご協力

により実現したカードです。大きな特徴は以下の4つです。

- ①発行されるカードはデジタルカード(スマホ上のアプリ)とその対となるフィジカルカード(いわゆる普通のカード)の2つ
- ②カード自体の年会費は無料
- ③申し込みから発行までスマホにて完結
- ④カード発行後に同窓会年会費の支払い登録をしておいただくことにより同窓会年会費2,000円のスミーズな集金が可能に

スマホアプリが苦手な方向けに郵便振込等による同窓会年会費の集金手法も採用予定です。



同窓会HP [QRコード]

### 筑紫丘高校 同窓会 公式LINE アカウント

このたび、同窓会の活動をより多くの世代に届けるために広報委員会の尽力により、筑紫丘高校同窓会公式LINEアカウントが開設されました。不定期配信ではありますが、同窓会からのお知らせを皆さまのお手元にお届けします。ぜひQRコードから登録をお願いいたします。



<https://lin.ee/hf3saAe>

### 同窓会年会費2,000円のご負担お願いについて

前号第71号で一度ご説明しましたので繰り返しになり恐縮ですが、改めて経緯等についてご説明させていただきます。

一昨年(2021)5月の常任幹事会で「卒業生に対し同窓会年会費のご負担検討を進めることの是非」をお諮りし、同窓会年会費ご負担の検討を開始しました。

その後議論を重ね、昨年1月の常任幹事会で「卒業生に対し同窓会年会費2,000円のご負担をお願いすること」が決議されました。

今回皆さまにご負担をお願いするに至った主な理由は以下の3つでございます。

- ①現在の同窓会運営費はほぼ全額在校生の負担により賄われていること。修猷館・福高は在校生・卒業生も負担しています。
- ②少子化により将来的に同窓会運営が困難になることが予見されること。安定的な財源確保後の在校生負担軽減にもなる。
- ③2027年に創立100周年を迎えるものの、100周年記念事業の推進、奨学財団による事業の拡大などで資金的な余裕がないこと。卒業生の皆さまにご負担を強いることは大変心苦しいことではございますが、ご理解賜われれば幸いです。

理事 田中 誠一(高37)

### GAOカードで年会費を!!



同窓生の皆さまにおかれましては、趣旨等をご理解いただき、ぜひ積極的にお申し込みいただければ幸いです。

理事 田中 誠一(高37)

# 3年ぶりの総会・懇親会 当番幹事が次々たすき渡し タモリさん「寄付道」訴え

令和4年度総会実行委員長 八塚富三郎(高45)



コロナの第6波と第7波の谷間で奇跡的に感染者数が落ちていた6月11日、令和4年度同窓会定期総会・懇親会を3年ぶりに福岡国際会議場で開催しました。

コロナ対策としてWEB申し込みや事前決済、QR受付なども導入し、世界各地から参加可能なウェビナー形式での配信、全席指定で全員着席、飲食も控えめという新様式での開催のため今までよりも広い会場に変更しての開催となりました。



母校は5年後の2027年に創立100周年を迎えます。歴史的な節目の記念事業を成功に導くため、創立100周

年記念事業実行委員会が発足。在校生支援の一環として公益財団法人筑紫丘高校同窓会奨学財団も設立されました。

## 会長あいさつ

原田ゆみ子(高20)



明けましておめでとうございます。皆さまのますますのご健勝・ご多幸をお祈りいたします。

新型コロナウイルスにより滞っておりました同窓会活動も徐々に

というキーワードを交えながら熱いごあいさつを賜りました。

高45回生(約150名)は当番幹事として会の進行をサポートしました。「OKAERITツナガルオカ」をコンセプトに掲げ、来賓恩師を含む530名が会場、100名がWEB、合わせて630名にお集まりいただきました。

WEB参加も会費をいただきましたので、会場にいるような臨場感あふれる撮影のクオリティーには特にこだわりませんでした。

懇親会の1時限目は、椎葉ユウさん(恩師)に司会を依頼するという、現役時代と変わらず失礼な学年(笑)という紹介から始まり、総会中止で実施出来なかった当番幹事学年(43回生・44回生)の紹介とたすき渡しの儀を行ないました。更に、高校生の映画コンクールで日本一に輝いた「今日も明日も負け犬」の夕

団は昨年公益財団法人となり、財団への寄付は個人、法人を問わず、税制上の優遇措置が適用されることになりました。多くの皆さまからご寄付が寄せられており、温かいご支援にお礼申し上げます。奨学金を受給した生徒からは、応援を期待してくれる先輩たちがいて、救われた気持ちになった支えていただいたことを励みに頑張っていきたいなどの声が届いています。皆様方の応援をお待ちしています。

また、従前から検討してまいりましたが、いよいよ同窓会年会費のご負担を同窓生の

イジェスト版をご覧いただいた後、監督の西山夏実さんと脚本の小田実里さんに撮影秘書などをお話しいただきました。

2時限目では、同窓生が営む飲食店を紹介する番組「がおかMAP」の放映や「がおかさわあきら」が会場を回り100周年記念事業の寄付を募りました。最後に46回生へ

## 奨学財団 一層上積み寄付を

奨学財団専務理事 世良 洋子(高45)

同窓生の皆様方におかれましては、日頃より当奨学財団へのご協力を賜り誠にありがとうございます。

財団設立から初めて2年目を迎え、公益化を果たした今年度も、大変多くのご寄付を承りました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

これまで、筑紫丘高校同窓会においては平成29年まで、教育支援基金より高校3

皆さまにお願いすることになりました。年々費導入の経緯概要については、別途記載しておりますが、今後の同窓会活動のため、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

のたすき渡しにより100周年に「ツナガル」総会・懇親会が幕を閉じました。

当番幹事学年として同窓会の運営に携わり、同級生や同窓会との「ツナガル」を再認識し楽しむことができました。今後も45回生同士の「ツナガル」を大切に、同窓会活動に寄与していければと思います。

年金を実現して参りました。ここに加えて、コロナ禍勃発のご寄付を活用させていただき、3カ年限定で、令和2年度以降今年度までの3カ年にわたり、教育支援基金及びこれを引き継いだ財団において、お蔭様をもちまして、毎年総額300万円の奨学金を実現して参りました。

財団では、次年度以降も、コロナを乗り越えて勉学に励む在校生のために、広く同窓生の皆さまから一層上積み寄付を承ることを目標としていきます。どうか、あたたかいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 教育支援基金寄付者

「教育支援基金」(令和4年4月~9月)に以下の方々から合計7万2000円の寄付がありました。ありがとうございます。

- 鶴田 幸生(高5) 城戸 寛(高21) 渡辺 幸栄(高26) 上野 留美(高38)

## 開校記念講演会

東京都大学教授 葉村 真樹氏(高39)



開校記念講演会が7月1日に行われました。東京都大学教授の葉村真樹氏(高39)を招き、「Creating New Values」新たな価値を創造する上で必要の思考と行動原理」の演題で約2時間にわた

りご講演いただきました。葉村氏は①人間中心に考える②存在価値を見極める③時空を制する④という三つのキーワードを軸に、これまでの数々のIT関連の大手企業を主要プロジェクトに携わった経験から得られた知見を語られました。

後半では「自分が生き残るためには何をすべきか」ではなく「自分は世界に何をもたらすべきか」を考えなければならぬ。

「自分ならではの提供価値」と「他者が求めている価値」の重なる部分に自分の存在価値が生まれる」とも述べ

☆卒業しても「チッコセイ」で(令和5年度総会実行委員長 日野 昌暢(高46) 筑紫丘高校は、地域では一般的に「ガオカ」と呼ばれていますが、入学すると自校を「チッコセイ」、在校生を「チッコセイ」と言

どうすればよいでしょうか」という質問に対して、葉村氏は「自分が人より楽にできる苦にならないことを考え、それを手掛かりに考えていく」とのアドバイスを返されました。

(青木雄志教諭 高66)

終了後、ぎつり書かれた生徒さん達からのお手紙を受け取り、これ以上もない大切な宝物となりました。さすが筑紫丘、私の想像を超えて、ひとりひとりがしっかりと受け取ってくれており、頼もしく、安心しました。私からお渡ししたものは、きっと、生徒さん達がそれ以上に大きく育てていくってくれることだと思います。

具体的には、まず自己対話(自分を知り、自分を持つ)。そのうえで外界と対話する(今の自分)を大きく越えるヒントは、自分の視野の外にある。そして変化の時

時は自分たちを「チッコセイ」と言っていたけども、校外では通じないこともあり、卒業してしまうと、また「ガオカ」と呼ぶようになる。卒業しても「チッコセイ!」って言うおうぜ! 俺たち「チッコセイ」って言いよったやん! SNSなどが広がって、つながりたい人とはつながれる時代に、同窓会

でどんな意味があるのか? コロナ禍は大変ですが、これまでの慣例や常識を一気に変える契機をくれたとも思います。映画「今日も明日も負け犬」も、コロナ禍がなければ生まれなかったように、元チッコセイたちが同じ日に同じ場所に集まる「同窓会」の意味や楽しさを2023年なりに再考する総会にできればと思います。

大浦 早紀子氏(高45) 時代、主体的に生きる自律型人材がますます求められることなどです。

私(ふだん、マーケティングコンサルタントとして、企業様の「自社の強みを活かして、売れる(社会的活躍)」をサポートしています。その視点から「自分らしく、強みを活かして社会で活躍するために必要なたったひとつのこと」という演題でお話しました。

具体的には、まず自己対話(自分を知り、自分を持つ)。そのうえで外界と対話する(今の自分)を大きく越えるヒントは、自分の視野の外にある。そして変化の時

具体的には、まず自己対話(自分を知り、自分を持つ)。そのうえで外界と対話する(今の自分)を大きく越えるヒントは、自分の視野の外にある。そして変化の時

具体的には、まず自己対話(自分を知り、自分を持つ)。そのうえで外界と対話する(今の自分)を大きく越えるヒントは、自分の視野の外にある。そして変化の時

校長あいさつ

# 未来へ、力強く

山本 博康



おめでとうございます。日頃から物心両面にわたりご支援とご協力をいただきありがとうございます。

同窓会の皆様、明けまして

## 東京・京都研修も3年ぶり

毎年2年生の希望者を対象に実施している東京研修は、今年度「東京・京都研修」と題し、7月25日～27日にかけて、東京と京都を訪問しました。

参加生徒は2年生187人で、初日は都内の大学研修、2日目は企業訪問などII写真および京都への移動、3日目は京都大学研修というスケジュールで実施。1日目と2日目の夜には、それぞれの関東・関西在住の筑紫丘OBとの交流会が開かれました。



昨年、一昨年は東京五輪開催やコロナの影響を受け、研修旅行は実施されませんでした。今回は3年ぶ

を未来へつなぐことができ、また、数々の部活動が県大会へ進み、成果を収めて、全国大会で活躍しました。

8月には、第2学年187名が2泊3日で東京・京都研修を行いました。大学訪問や企業訪問では各所で活躍する

本校を離れた翌年、小倉高校で定年退職を迎えました。

38年に及ぶ教職生活を振り返ると、関係各位のお力に支えられてきたことに感謝するばかりでしたが、限りあるこの人生、もう一度生徒たちとともに学び合いたいとの思いを強くし、香住丘高校で教壇に復帰しました。

コロナ禍で様々な行事が中止されてきた中で久々に実施された学年行事でしたが、参加生徒たちは福岡では得られない様々な活動を体験し、多くの学びを得て充実した面持ちを見せていました。

## 早野元校長が教壇に「再会に感謝」



同窓会の皆様、お久しぶりでございます。平成29年度奇しくも創立90周年の年に学

先輩方の姿に接し、交流会では首都圏や関西の同窓の皆様

に多数お集まりいただき貴重な時間を過ごすことができました。生徒にとつて何より刺

本校を離れた翌年、小倉高校で定年退職を迎えました。

38年に及ぶ教職生活を振り返ると、関係各位のお力に支えられてきたことに感謝するばかりでしたが、限りあるこの人生、もう一度生徒たちとともに学び合いたいとの思いを強くし、香住丘高校で教壇に復帰しました。

コロナ禍で様々な行事が中止されてきた中で久々に実施された学年行事でしたが、参加生徒たちは福岡では得られない様々な活動を体験し、多くの学びを得て充実した面持ちを見せていました。

## 旧本館取り壊し完了

(早野 祐子)

創立百周年記念事業の1つである校舎改築は第1期の新本館建設が完了し、第2期の南棟建築工事が進んでいます。



新南棟は令和五年十二月竣工の予定です。

## ザ・部活

柔道部

## 廃部寸前から金鷲旗に

令和4年7月に開催された金鷲旗柔道大会に7年ぶりに



ます。日本の社会状況もそれを取り巻く世界の情勢も混沌の度を深めています。その中で未

来へ向かって力強く進む人物を筑紫丘で育てていきたいと思

本校を離れた翌年、小倉高校で定年退職を迎えました。

38年に及ぶ教職生活を振り返ると、関係各位のお力に支えられてきたことに感謝するばかりでしたが、限りあるこの人生、もう一度生徒たちとともに学び合いたいとの思いを強くし、香住丘高校で教壇に復帰しました。

コロナ禍で様々な行事が中止されてきた中で久々に実施された学年行事でしたが、参加生徒たちは福岡では得られない様々な活動を体験し、多くの学びを得て充実した面持ちを見せていました。

## 「丘女会」だより

# 発足から10年目を迎え 世界に広がるイベント 同窓の絆深める一助に

丘女会会長 内田 洋子(高24)

明けましておめでとうございます。皆さまには健やかに新春を迎えられたことと、お喜び申し上げます。

丘女会の活動につきましては、多くの皆さまに力強いご支援賜りまして、心より感謝申し上げます。

2022年10月8日に開催した、第9回イベントは、監督の西山夏実さん、脚本の小田実里さん、主演の古庄葉々夏さんはじめ74回生が中心となって制作した映画「今日も明日も負け犬。」上映を本校視聴覚室とオンライン配信のハイブリッド形式で行いました。

この映画は国内各地の教育機関やイベントでの上映会のみならず、ハンブルク日本映画祭や全米学生映画祭、フランス高校映画祭などにも招かれ、世界へと広がっています。

丘女会は今年、発足から10年目を迎えます。これからも同窓の絆(きずな)を深める一助となりますよう知恵を結集していこうと思います。

◆お知らせ 研さん委員会は、令和5年度の事業計画として、会員の皆様に向け、4月、10月、2月の年3回の講演会を予定しています。

4月のテーマは「論語」「大学」。その他、各講演会の内容は、同窓会ホームページで案内します。



## 放送部

## 春吉橋完成式で司会

私たち放送部は、学校行事や放送コンテストに向けて日々練習に励んでいます。

令和4年4月、福岡市・天神と中洲をつなぐ新しい春吉橋の完成式で司会を務めさせていただきました。

私たちが放送部は、学校行事や放送コンテストに向けて日々練習に励んでいます。

## 訃報

昨年は同窓会活動に多大な貢献をされた4名の方がお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りいたします。

- 藤英俊(中15) 元常任幹事、8月ご逝去。野村喜七郎(高6) 筑豊支部長、2月ご逝去。保坂晃孝(高13) 元会報委員、10月ご逝去。稲留穂(高14) 熊本支部長、8月ご逝去。



多くの皆様を前にして、初めはとて緊張しましたが、次第に式典に関わる方々と協力して進行することを楽しむことができるようになりました。

たII写真。このような貴重な機会を頂き感謝します。これからも高みを目指して精進してまいります。

おめでとーございます

外務大臣表彰を受ける  
明治大学長の大六野さん

明治大学学長を務めている大六野耕作さん(高24)が、諸外国との友好親善に顕著な功績があったとして、8月に令和4年度外務大臣表彰を受賞しました。



令和3年7月に開催された高校生向けの記念講演会で「国際的な視点を養うことの大切さ」を訴えた大六野さんが、その言葉通りに実践して

きた活動が評価されました。

大六野さんは「今回の表彰は、個人としての受賞ではありませんが、長年にわたって中国と日本の交流に取り組みながら明治大学の努力が評価されているのと感じています」「所属する国家は異にしても、人々が強い平和の絆で結ばれるためには何が必要かをさらに考えていきたい」と大学を通じてコメントしています。

(山口吉則 高24)

福岡市文学賞(俳句)受賞  
大藪貴美子さん 令和3年度

米寿に達した高5回生(二八会)には二人の俳人がいる。吉武章彦さん(ホトトギス同人)と大藪貴美子さん。



新しき屠蘇器に未来酌みに

共に二八会の幹事。集まれば話は俳句に及ぶことも。大藪さんの俳歴は昭和61年「玉藻」(主宰星野立子)入会、平成元年「冬野」入会、同18年「玉藻」同人等、40年近い俳句活動の集大成として、令和3年夏に上梓した初句集「花だより」がいち早く注目され、価値ある受賞となった。

自筆の挿画や装丁にも深い思いを込め、春夏秋冬別に並べた全375句。優しい人柄のままの素直な写実性。細やかな夫婦愛・家族愛。伝統俳句の詩情が息づいている。

夏休みにガーナへ小学生相手にボランティア

ボランティア



佐々木寛太さん(2年)は令和4年の夏に3週間、西アフリカ・ガーナの村にある小学校でボランティアをしました。期間中は僕と米・英・仏・伊・スペインから来た高校生8人と同じチームを組み活動しました。

活動先は丘陵地にある小学校。鬼ごっこをしたり歌を歌ったりして子どもたちと打ち解け、算数の授業や読み聞かせを担当しました。子どもたちの学習意欲は高く、授業をしていると次々に質問が飛んできました。

夜には欧米の高校生たちとトランプで遊んだり、学校生活から歴史のことまでいろいろなことを話したりしました。日本の戦時中の加害責任についても問われましたが、議論するだけの知識がないことを悔しく思いました。土日には奴隷貿易の拠点と

多分今が一番楽しい東京暮らし

フオスター電機設計3課

中山 利周 (高64)

1年前のある日。母校が私と同じ高校で同窓会の世話をしている父から近況を書いてほしいと連絡が来た。バックナンバーを読んだら、人形劇団のプロデューサーに歌人、京都大学准教授…一瞬「キレる若者」になりかけた。劣等感に手を震わせつつ、開き直って「東京1人暮らし社

会人4年目独身29歳」がいかにして今に至ったか書き散らそうと思う。「丘で学んだ」というコーナーに申し訳ないのだが、高校時代は理系250人中200位を上回ったことのないような劣等生だった。中学までは優等生、入学最初のテストで「現実」を知った(同じ経験をした人、多いのでは?)。楽しみと言えば昼休みのバスケットと放課後のギター部、あとは夜更かししてみる深夜アニメぐらい。印象に残っていることは高1の時に自転車で九州一周したこと。地元で夏祭りやバンド演奏したこと。あとは卒業式の日に屋上で告白して振られたことぐらい。大学受験も失敗した

が、周りの友達もそろって浪人した(本当に救われた)。その後なんとか地元大学の音響設計学科へ入学。大学でも勉強そつちのけで深夜までバンドの日々。浮かれた日々を過ごした。

一生福岡は嫌だと思いき、東京で就活。バンドで食っていくのはあきらめたが、何か音楽に関わりたくてスピーカーメーカーに就職した。働き出してすぐ、仕事の大変さを感じ知った。特に一年目はこんな簡単なこともできないのかと自分の理解力にあきれた。

学生時代の記憶がキラキラしすぎて、残りの人生は消化試合のように思えた。遠距離中の彼女とも別れ、念願の一人暮らしは予想以上に孤独だった。そうこうしているうちにコロナがまん延。緊急事態宣言にリモートワーク。最初こそ「非日常」を不謹慎にも楽しんでいて、6畳1Kの社宅に何か月も引きこもるのは、まあしんどかった。時々出版社でも、会話していて反射的に言葉が出てこなくなったりはさすがにヤバイと思った。

コロナを恨む反面、良かったこともある。一つは、就職で離れ離れになった友人とのオンライン飲み会だ。自分の部屋だから酔いつぶれても大丈夫。花金の夜はネット上のゲーム部屋で友人と夜更かし。もう一つはバイクを買った。長い自粛生活の反動か、誰とも接触せず移動できる自由が最高に楽しい。音と振動と流れる景色。エンジンがモーターになる前にバイクという乗り物にのれたのは幸運かもしれない。先日は香川

県さぬき市まで讃岐うどんを食べに行ってきた。もはやバイクが彼女。将来に不安がないわけではない。周りはやれ結婚だ、出産だと人生のステップをどんどん進めている。先日は数少ない昔からの友人2人がそろって結婚指輪を買うとのこと。一緒に銀座を歩き回った。この駄文が世に出る頃にはもうプロポーズしているだろうから先回りして言うところ、「結婚おめでとう!!」(失敗したら飲みに行こうな)。先日帰省して久しぶりに両親に会った。昨年心筋梗塞になった父も元気そうで安心した。母は髪が白くなって少し背が縮んでいたが、趣味の裁縫を楽しんでいるようだった。「結婚はまだか口撃」はともう一つ、心配してくれるのが花だらう。最近仕事もそれなりに回せるようになり楽しくなってきたが、そのうち福岡に転職したい(だれか福岡に音響メーカーを作してほしい)。独り身が長いのでだんだん「結婚とは?」「子供とは?」などと拗らせてきているが、最近マツチングアプリでマッチした人とご飯を食べに行ったりもした。独身の今しか買えないだろうと給料数カ月分のスピーカーも買った。実感はあまりないが、将来思い返せば自由にできてやりたいこともある今が、多分一番楽しい。

真栗田 良雄(高24)

宴座

私達の学年同窓会の名称は「丘仁志会」という。学年は仲が良い。学年同窓会は毎年継続している。

2019年ラグビーワールドカップのスコットランド戦が学年同窓会当日。私は直帰し自宅観戦。十数名は何とか店を見つけ、「いやあ! ピールがうまいの、なんの!」とビール片手にラクビー観戦したという。私も歴史の日を友と味わいたかったが、残念だった。

学年同窓会長の山口君から仲間計報の連絡あり、葬式に行くかと友が5名以上はいた。亡くなる前「本人から病氣・余命の告知があり、生きている間に少しでも多くの筑高生と会いたい」との連絡で急き見舞うと病室には既に2名の友がいた。

1年9組のクラスを中心に、当時担任だった畠中先生の古希の祝いを始めとし、喜寿・傘寿・米寿の祝いという特別な同窓会もあった。祝宴では一人一人が先生にまつわる思い出を語り、ある友はこう言った。

「学校全体に自由な空気があったが、その中でも突飛なアイデア・発想をも受け止めて下さったのが先生でした」わずか3年間だが、多感な時代を筑高で過ごせて本当に良かった。今年はいくかの友が古希になる。これからの幸せが続きます様に。